

さんくす

サンバと八木節の共演！熱狂の納涼祭

7月30日(日)に笠懸第三区公民館において恒例の納涼祭が盛大に開催されました。

前日からの雨が懸念されたものの、開催時間中に降雨はなく、存分に楽しむことができました。

祭り会場では、テントの中で赤飯、焼きそば、ビール、ジュース、かき氷、餃子、フランクフルト、もつ焼き、玉こんにゃくなどの様々な飲食物を売っていて、どこも長蛇の列で賑わっていました。

祭りではビンゴゲーム、子どもや大人の八木節、民謡踊り、サークルのコーラスなどがおこなわれました。また、会場内では、ぐんまちゃんが祭りに見えた人たちと仲良く写真撮影をしていました。今年が目玉として、太田市からサンバチームを招きました。20人以上の演奏者が高らかに楽器を鳴り響かせる中、リオのカーニバルさながらの衣装をまとった踊り子達が会場内を踊りながら歩いて回り、会場はいままでにない盛り上がりとなりました(写真)。

最後は大抽選会を行い幕となりました。最後まで楽しい祭りとなりました。



小沼南に歩道新設

阿左美沼の南西に位置する、小沼の南側に接する市道2203号線に歩道が設置され、4月から共用が開始しました(写真)。

これは、国道50号線の北側に住宅が増え、笠懸東小学校への通学にあたり、交通量の多い国道50号線を渡るのは危険が多いとの判断からのもので、阿左美沼土地改良区農機具センター脇の道路(市道2206号線)の利用増を想定したものです。

これまで、市道2203号線には歩道がなく、新設されたことで、歩行者や自転車が市道2206号線に安全に進入できるようになりました。通学路として利用増が見込まれる市道2206号線ですが、国道50号線をくぐるアンダーパスには照明はあるものの、防犯灯はありません。区では唯一有る電柱に防犯灯の設置を要請していますが、500メートルほどの距離にアンダーパスの照明と防犯灯1機で安全確保が出来るかという疑問が残ります。

散歩道 上原八坂神社 (天王宮)

三区公民館の近くにある上原八坂神社は天王様とも呼ばれ、疫病を追い払う三区の守り神です。

祀られている神様は素戔嗚命(すさのおのみこと)、創立は不詳ですが、1800年の古文書には修験持正院(しゅげんじしやういん)の地所の寄付によって、間口2間半奥行三間の社を建立したとの記録があります。

春と秋の祭りには、早朝世話人が集まり、掃除を行い、のぼり旗を立てます。神主は桐生市広沢の比呂佐和神社から来ます。現在の社殿は昭和49年に上原住民の寄付で建て替えました。また、毎年夏の天王祭り、現在は三区の夏祭りに合わせて、子どもたちが水神輿しをかつぎます。この水神輿しは昔の雨乞いの名残りではないかと想像されます。天気が続いて干ばつの時は陸稲がだめになってしまうので雨乞いをしたと記録があります(笠懸村誌、説明看板等より)。なお、地元の年寄りの話によると、昔、上原八坂神社の神様を阿左美沼の南にある浅海八幡神社に移したところ、上原地区に疫病が流行し、子どもが数人亡くなったため、元の場所に戻したという言い伝えがあるそうです。





スナップショット 八木節の力強いリズムが観客の心を揺さぶります(上)。ヨーヨーすくいを見守る親老会の役員(右上)。曇天の中、水をかけられても太鼓を叩き続ける子ども達(右)

笠懸町子ども会球技大会 善戦！ 三区 4位

6月11日(日)に笠懸中学校体育館で、子ども会夏季球技大会が開催されました。

三区からはドッジボールの部に、1年生から6年生までの合計17人が出場しました。

当日は、出場した6チームのリーグ戦で熱戦が繰り広げられました。

高学年チームは順位が決まる試合形式。低学年チームの試合も多いことから、競技レベルが均衡していて、子ども達も楽しい球技大会になったようです。

中村正義育成会長は、「新チームで最初の大会でしたが子ども達も頑張って素晴らしい大会でした。秋季大会は3位入賞を目指し、育成会役員も手伝っていききたい」と抱負を語っていました。



チームワークの良さが伺えます



パトロール、お疲れ様です

パトロールに感謝、青パト

6月24日(土)三区公民館において平成28年度青色防犯パトロール総会と実施者感謝祭が53名の参加者で開催されました。

冒頭、大須委員長の挨拶と28年度の活動報告、会計報告がありました。来賓の新井栄三区区長は「パトロール自体その成果は目に見えないが、何も起きていないことが大きな成果」と言っていました。交番長も「地道な活動ですが、管内の事件は少しずつではありますが減少傾向にあります。日頃の防犯活動に感謝するとともに今後とも継続することをお願いします」と挨拶。その後、役員有志の手作り料理によるバイキング方式の慰労会に入り、盛り上がりました。

我が家の自慢料理

今回は、トマトが主役のキーマカレーの紹介です。はじめに、鍋で豚牛あいびき肉(ひき肉は10人分で1キロ)をオリーブオイル適量、ニンニク少々で炒めます。そこに、ミキサーですりつぶした完熟トマト(多め)、分量はお好みで、みじん切りのなす、ピーマン、玉ネギ、ニンジン、エリンギを入れ材料をよく煮ます。水は使わず水分をトマトで補うのがポイントです。

次に市販のカレールーで味を調えると、夏野菜を使ったキーマカレーの出来上がりです。豊作の家庭菜園の野菜たちが大活躍してくれます。我が家では少し多めに作り一部冷凍保存しておきカレーうどんに使用したりナンなどに合わせるといった食べ方で楽しんでいます。

投稿者 主婦M



優勝は金井一夫さん、高野千歳さんGG

3区と3区福祉部の共催による区民グラウンドゴルフ大会が、6月3日(土)に、あすかホールグラウンドゴルフ場で行われました。

50代から80代までの男性23人、女性15人の合計38人が参加しました。

男性の優勝は金井一夫さん、準優勝は山洞信之さん、3位は木暮勝利さん。女性の優勝は高野千歳さん、準優勝は関根みち江さん、3位は石坂ヨシ子さん。



高野さん(左)と金井さん



みんなで、楽しく米づくり

6月13日(火)午後2時から4時まで東小学校近くの水田(4アール)で、東小5年生90名と先生、保護者と地域協力者25名が参加してモチ米苗の田植えが行われました(写真)。

これは5年生の総合学習の時間を使う、米づくり体験学習のなかの一環です。計画表では5月種まき(2kgのもみ種)、6月田植え、10月稲刈り脱穀(収穫高180kg見込み)、2月餅作り(感謝祭)と予定されています。地域、学校、保護者の協力のもと今年で第40回(昭和53年第1回)になるそうです。人と自然環境に恵まれた東小ならではの授業です。

田んぼの泥んこの中、地域の方々や先生、保護者、生徒たちが笑顔いっぱいの楽しそうな様子で苗植えをしていました。ある生徒の一人が「秋になるとたくさんお米ができて、2月においしい御餅が食べられる」と元気に話してくれました。



多くの子どもが参加したラジオ体操

早朝ラジオ体操 育成会主催

三区育成会主催による早朝ラジオ体操が、7月22日(土)~28日(金)まで三区公民館で開催されました。

期間中は毎朝6:45からラジオ体操をして、夏休み中でも早起きをして元気な体を作ることを目的に毎年開催しています。最終日には皆勤賞が渡されるようで、今年は三区居住の幼児から中学3年生まで67人が頑張っている様子でした。

楽しく歌おう3区カラオケ同好会

三区カラオケ同好会は今年で発足5年目になります。毎週火曜日午後2時から4時まで三区公民館ホールにてDVDカラオケを使って歌っています。

高木会長以下17名の会員で活動しています。メンバーは69歳から83歳までの高齢者で無理をしないように個々が楽しく歌うことが目的です。興味のある方はぜひ一度遊びにきて下さい。



カラオケ仲間募集中です



練習に励む子どもたち

子ども八木節 38人参加

5月12日(金)に、三区子ども八木節教室の開講式が行われ、小学2年生から6年生までの38人が参加し、三区納涼祭や笠懸まつりでの披露に向けて練習がスタートしました。三区八木節愛好会の方々が講師として、お囃子や踊りを教えています。

初めての参加と担当楽器が変わった子ども達でも、数回の練習で覚えることができているようです。関係者からは、「おまつり披露の当日に、子ども達の揃った演奏を楽しみにしてほしい」と話していました。

オタマジャクシ採取と水泳教室 阿左美幼稚園

7月3日(月)阿左美幼稚園年長組(5歳児)38名が6月上旬に田植えした水田に孵化したオタマジャクシ採取を実施しました。

情操教育として毎年の恒例行事ですが、園児たちは素早いオタマジャクシに悪戦苦闘しながらもビショ濡れになりながら楽しんでいました。採取したオタマジャクシは命の大切さとカエルに変態する過程を観察するため教室で飼育されるそうです。



オタマジャクシがとれました

このほか、北京オリンピックに競泳日本代表として出場した内田翔選手を招き、水泳教室を行いました。水泳の楽しさを知る事を目的としていて、最初は顔を水に浸けるのを戸惑っていた子どもも、楽しく遊ぶうちに水を蹴って泳げるようになっていました。



水泳って楽しい!

ちょっとピンぼけ

子どもの頃には想像もしなかった便利な世の中になっている。テレビや新聞は勿論、パソコンやスマホからの情報が大量に氾濫していて、何が真実かわからなくなることがある。一方的に発信される情報が、あたかも真実のように一人歩きする怖さもある。

特にネット上の投稿やコメントは、何が真実で何が虚構か判別がつかない。戸惑いながらも、情報に踊らされてしまうことが度々ある。曇りのない公平な目線で・・・と心がけていても時折ネット情報を鵜呑みにしてしま

荒神山の柴刈り参加者募集、行政区

三区では、11月11日(土)に予定している、荒神山柴刈りの参加者を募っています。これは例年一区・二区・三区

青少年健全育成推進会議に加盟する行政区のほか、地区公民館、青少年育成推進員、子ども育成会、笠懸東小学校や農地と水・阿左美



平成26年に行われた作業

地域環境保全協議会主催し、交通指導員、荒神山友の会、阿左美沼土地改良区などの協力を得て、地域住民の里山はもとより、子どもの学習の場として整備を行うことを目的に平成10年から行っているものです。

一昨年は雨による中止となり、シノや下草が伸びてしまいました。昨年は柴刈りの直前に熊らしい動物を目撃したとの情報もありました。今年幹事となる三区の関係者は、「野生動物の生息域と人間の活動範囲を分けるためにも下草刈りは重要で、そのためには1人でも多くの区民に参加して欲しい」と話しています。

資源ゴミ回収で育成会活動資金

三区育成会活動の一環として、資源ゴミ回収を今年度も3回の開催を予定しています。第1回目は6月18(日)に開催されました。中村育成会長は「集まった資源ゴミはリサイクルで再生利用されます。収入は13,827円でした。区民の皆様のご協力に感謝します。

収入金は育成会活動の財源として、行事に参加している三区の子ども達のために有効活用させていただきます。」と話していました。

第2回目は次のとおり。

◆開催日時：11月26日(日)9:00~11:00◆開催場所：三区公民館◆内容品：新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。(瓶は茶色のみ)

う。時と場合によっては、過剰に怒り、疑い、果ては凶悪な事件に、という悲しい結末になることもあるだろう。

小説やドラマのような信じ難い事件が起こると、便利すぎる情報や通信手段に疑問を抱く。反面、本当に必要な情報すら入手困難な人がいるのも現実だろう。

両極端な今の社会を見て、真実を見極める確かな目を持つことこそが、この時代を生きる者として大事なのかかもしれないと思う。(S.T)